

## クリスマスプレゼントは「絵本のお話」



▲演技と読み聞かせに見入る子どもたち

おはなし会ピノキオ  
「おはなし会ピノキオ」が12月21日、南淡図書館でクリスマス会を開催し、市内から約90組の親子が参加しました。  
ピノキオは毎週日曜日(午後2時〜3時)に南淡図書館で「おはなし会」を実施するボランティアサークル。同図書館が出来た頃から約10年にわたり活動を続けています。クリスマス会では、人形劇

やパネルシアターを絵本の朗読と絡めて上演。手作りで作成された舞台素材一つひとつがかわいらしく、子どもたちは、演技と朗読に暇なく見入っていました。  
同会代表の楓(かえで)るみ子さんは、「子どもたちには想像力を養ってほしい。読み聞かせの活動は、それを手助けする一つの方法です」と話していました。  
なお、同会では随時サークル会員も募集しています。  
■南淡図書館 ☎53・0234



▲岩場にとまる越冬中のウミウ(灘の海岸で撮影)

## 150キロの餅、どしどしつぎゃー



▲9連覇を果たした菊井洋輝さん

### 薬王寺の大鏡餅運び競争

北阿万筒井の薬王寺で1月12日、餅と三方の計156kgを抱えて、歩く距離を競う大鏡餅運び競争が行われました。  
この競争、同寺の厄除け祈禱(やぐよけ)の大祭の余興として昭和初期から行われている新年の恒例行事。毎年、島内外から力自慢が集まり、顔を真っ赤にして歯を食いしばり「一歩でも前へ」と、距離を競い合います。  
今年も13〜59歳の26人の担ぎ手が集結し、菊井洋輝さん(北阿万)が79・6m歩き、9連覇を果たしました。

## ウミウが越冬中

### 沼島・灘で

毎年10月下旬頃から3月頃にかけて、沼島や灘に越冬のため、数百羽のウミウが飛来しています。沼島のウミウ渡来地は、県の天然記念物に指定されており、人が寄りつきにくい上立神岩付近から屏風岩付近にかけた岩礁に群生しています。一帯の岩はその糞で白くなっています。

温暖な気候と豊富な餌の恵みを受け、春になって南風が吹く頃になると、北日本の太平洋沿岸へ飛んでいきます。

## おめでとう

### 兵庫県表彰(敬称略)

#### ◆ひょうご県民ボランティア活動賞

南あわじ市更正保護女性会  
非行や犯罪防止のため、様々な啓発活動を積極的に実施。(24頁参照)

#### 橋本 正(松帆)

交通事故防止のため、朝夕、小学校通学路で立ち番を実施。南あわじ交通安全協会西淡ブロック長も務め、高齢者の事故防止にも尽力されています。

#### ◆兵庫県自治賞

#### 平石 剛敏(湊)

湊漁業協同組合長として、クルマエビやアオリイカなどの栽培漁業を積極的に推進。地域漁業の振興に寄与されています。

#### 山下 富子(賀集)

消費者リーダーとして、消費者被害の未然防止活動やレジ袋削減運動等の環境問題に取り組み、安

## 灘黒岩水仙郷をPR



▲島内の郵便局が発売したオリジナル切手

冬の風物詩「灘黒岩水仙郷」が12月27日に開園し、1月20日までに約2万8000人も

### 郵便局と観光協会がPRに一役

日までに約2万8000人も観光客が訪れています。



▲水仙娘から観光客に水仙の切花などをプレゼント

この水仙郷の開園を盛り上げようと、観光協会や地元の関係団体の皆さんが一役買っています。

淡路島内の49か所ある郵便局が合同で、水仙郷の写真が入った切手シートを1500セット作成し、1月5日から販売しています。

1月17日には、市観光協会が、水仙郷を訪れた観光客に水仙の切花のプレゼントや、ふぐ鍋を振る舞い、観光客に喜ばれていました。

水仙は例年に比べて2週間ほど早く開花しています。お早めにお越しください。  
灘黒岩水仙郷 ☎56・0720

## 新年の福願う、えべっさんで「歳の市」

### 事代主神社(戎神社)

商売の神様「えべっさん」の愛称で親しまれる市市の事代主神社(戎神社)で12月28日、歳の市が開かれました。

この歳の市、古くは聖徳太子が各地にダイコンなどの野菜を持つ農家と魚を持つ漁師が物々交換をする場(市場)を作ったことが始まりとされています。現在の歳の瀬に行われる「歳の市」の名は、当時の市場の名残とされ、約

500年前に戎神(事代主神)を祀った頃から続いています。

当日訪れた人は、拝殿で商売繁盛や大漁豊作を祈願。参拝後は、笹にタイや小判、俵などが結びつけられた吉兆を福娘から購入していました。福娘は、白衣に金の烏帽子、緋袴の出で立ちで、毎年市内の高校生が務めています。また、神社境内では淡路人



▲参拝者に吉兆を手渡す福娘

形座が「戎舞」を上演。参拝者に祝いの舞を披露しました。

## 辛多き年を願い、人形舞う

### さんぼうの奉納

神代社家の上田八幡神社などで1月2日、淡路人形座が「翁」「千歳」「さんぼう」の三体の人形を使って行う「さんぼう」を奉納しました。

天下泰平や長寿円満、五穀豊穰などを願うこの儀式は、かつては毎年正月に近くの神社に奉納して一年の巡業の成功を祈ったり、家庭を回ったりしていました。昭和40年頃に一旦途絶しましたが、淡路人形座が同神社(平成16年)と市三條の八幡神社(平成9年)で復活させ、毎年奉納しています。



▲厳肅な雰囲気の中、人形を操る座員(上田八幡神社)

全安心な社会作りにも貢献されています。

#### ◆淡路農林水産功労者表彰

- 〔農業〕  
谷本 馨(阿万)  
坂本 孝也(阿万)
- 〔畜産〕  
前川 有(倭文)

永年にわたり「こころ豊かな美しい兵庫」に尽力され、実践している個人・団体に各賞が贈られました。

#### ◆このとり賞

- 〔消費生活問題改善〕  
松崎 えみ子(賀集)
- 三宅 鈴子(広田)
- 原 朋子(津井)
- 〔子育て支援〕  
竹谷 千鶴子(福良)
- 〔青少年健全育成〕  
土居 範子(伊加利)
- 〔交通安全運動〕  
遠矢 絵美(潮美台)
- 川添 みき(福良)

#### ◆くすのき賞

- 〔ボランティア活動〕  
志知 高校生徒会
- ◆みどりの章  
〔花づくり活動〕  
藤本 清(広田)
- 藤井 数子(広田)
- 富地 和子(榎列)